

新時代の建築記録と伝達手法～旧熊本通信病院アーカイブス

【趣旨】

かつて熊本市内には2つのDOCOMOMO選定建築が存在しました。

旧熊本貯金支局（熊本市役所花畑町別館）と旧熊本通信病院です。しかし残念なことに一昨年、両方とも解体されました。旧熊本通信病院については解体直前にDOCOMOMO Japan主催の見学会が開催され、その直後に建物管理者のNTTファシリティーズと共同で建築調査を実施しました。皮肉ではありますが、建築記録において「解体」は、千載一遇のチャンスとなります。病院建築においては、手術室など普段は部外者の立ち入りが厳しく制限される空間も調査可能になり、床下、天井裏、設備配管、構造躯体断面などの詳細も確認できるからです。従来の建築記録は書籍（紙媒体）の形で報告されることが多かったのですが、今回の旧熊本通信病院調査報告ではCDに収められた「データ」の形で提供されることになりました。

それは大量の図面や文献記録、写真、動画の収録を可能にしたのです。モダンムーブメントの建築には特に言えることですが、建築空間を説明するときに写真や図面だけでは伝わりにくく、動画は非常に有効な伝達手段となります。また、ドローン技術の発達には空撮をより身近なものにしました。3Dスキャナー技術は2次元図面を超越した建築再現性を獲得しています。

本シンポジウムではこうした背景から誕生した新時代の建築記録「旧熊本通信病院アーカイブス」について解説を行いたいと思います。

【プログラム】

1. 開会の言葉
2. 経緯説明
山元 徹也（株式会社NTTファシリティーズ）
3. 熊本通信病院アーカイブスの概要
横田 昌幸（株式会社NTTファシリティーズ）
4. 3Dスキャナー デジタル時代の有用性
下田中 龍宏（日比谷総合設備株式会社）
5. 市民視点の建築記録
ニシモトシオリ（熊本ビル部）
6. 通信の建築記録
吉岡 康浩（株式会社NTTファシリティーズ）
7. 熊本通信病院の意匠の特徴
大宮司 勝弘（一般社団法人DOCOMOMO Japan理事、東京家政学院大学）
8. 質疑応答



建築家山田 守

日 時：平成31年3月9日（土）13:30開場、14:00～16:30
場 所：熊本県伝統工芸館（設計:菊竹清訓 熊本市中央区千葉城町3-35）
※クルマでのご来場は出来ません

会 費：資料代1,000円（学生およびDOCOMOMO Japan 会員は500円）
※当日受付でお支払いください

定 員：50名

申込み：資料等準備のため、電子メールによる事前申し込みが必要です。件名を「旧熊本通信病院アーカイブスシンポジウム申し込み」とし、御氏名、メールアドレス（もしくは日中連絡可能な電話番号）をご記入の上、3月4日までに下記のDOCOMOMO Japan事務局のメールアドレスにお申し込みください。3日以内に返信します。

（メールアドレス：docomomo.jp@gmail.com）

主 催：一般社団法人DOCOMOMO Japan

協 力：株式会社NTTファシリティーズ、日比谷総合設備株式会社、けんちく寿プロジェクト



DOCOMOMO

ドコモモは 20 世紀の建築における重要な潮流であったモダン・ムーブメントの歴史的・文化的重要性を認識し、その成果を記録するとともに、それにかかわる現存建物・環境の保存を訴えるために、1988 年に設立された国際学術組織で、近代建築史研究者だけでなく、建築家、建築エンジニア、都市計画家、行政関係者などが参加しています。

DOCOMOMO Japan

ドコモモの日本支部 (DOCOMOMO Japan) は、1998 年に DOCOMOMO 本部からの支部設立の要請を受け、日本建築学会のドコモモ対応ワーキンググループを母体に組織を整え、20 件の選定作業を開始、2000 年のブラジリア総会で DOCOMOMO の支部として正式に承認されました。日本支部は 2000 年に神奈川県立近代美術館 (鎌倉館) にて、選定した DOCOMOMO20 選についての展覧会やシンポジウムを開催しました。引き続き 2003 年には 80 件を加えた DOCOMOMO100 選の選定を行い、その成果を 2005 年に汐留ミュージアムで展覧会として発表しました。さらに 2011 年には「DOCOMOMO Japan 150 未来への遺産展」を開催するなど、建築物の見学会や全国各地での展覧会、研究集会ならびにセミナーやシンポジウムを開催しています。選定は現在も続き、2018 年時点で総計 216 件に達しています。熊本では旧熊本通信病院 (1956/山田守)、旧熊本貯金支局 (1936/逓信省)、熊本県立美術館 (1977/前川國男) の 3 件が選定されました。

do_co_mo_mo_japan

The Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhoods of the Modern Movement

DOCOMOMO Japan へのお誘い

近代建築に興味と情熱をおもちの方なら、誰でも参加できる国際組織が DOCOMOMO Japan です。日本の近代建築の記録・保存・評価・調査など、幅広い活動を行っています。専門家として、学生として、建築ファンとしての参加など、どのようなかたちでの参加も歓迎します。DOCOMOMO Japan はこれまで日本の近代建築のリストを整備しながら、展覧会、見学会、シンポジウム、研究会、国際交流などを行ってきました。また、年に 2 回 DOCOMOMO Japan News Letter を発行しています。こうして記録されてゆく近代建築のリストは、2016 年の国立西洋美術館 (1959/ル・コルビュジェ) のように、今後ユネスコの世界文化遺産の登録につながってゆくものと考えられています。こうしたリストを拡充しながら、今後の活動はさらに幅広く、多様に展開してゆきます。ぜひ DOCOMOMO Japan にご入会ください。

会員の種類と入会の手続き方法については DOCOMOMO Japan ホームページをご覧ください。

<http://www.docomomojapan.com/>

※新年度から会費が変更される予定です。

※現在「フレンズ」会員の募集は停止しています。